

**第54回 国連「女性の地位委員会(CSW)」NGO パラレルイベント
パネルディスカッション「女性のエンパワーメントに向けた取組みと課題～日本と韓国の
経験から」**

2010年 3月1日(月)14:00～15:30

太田まさこ アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW)

アジア地域では人口増加に苦しむ国々がある一方で、出生率の低下に直面している国々もある。いずれにしても女性の生活及び社会全体として影響をもたらす。本報告では、日本における低出生率の現状と背景、そして子育て支援のための対応について扱う。私たちの課題と経験の共有を通して、同じ問題に取り組んでいる国々に少しでも役に立てれば幸いである。

1. 日本における出生率

- 合計特殊出生率の低下；2.00(1960年)から1.37(2008年)へ
- 2005年からの人口減少傾向

2. 日本における出生率低下の要因

- 婚姻数の減少と少子化
- 結婚出産後の就業継続が困難な女性たち
- 高価な養育費

3. 政府の政策対応

- 少子化担当大臣の任命（2003年）
- 出産促進に係る政策策定及び事業実施

4. 北九州市における子育て支援に関する調査結果

- 民間企業へのインセンティブ導入基礎調査（2008年）（北九州市）
- 仕事も子育ても大切と考える意識の高さ
- 限られた人材のため父親又は母親による育児休暇を利用することの困難さ

5. 効果的な子育て支援に向けて

- 入札や融資における優遇
- 職場内保育所の設置
- 意識啓発・研修の実施
- 表彰制度